

天体発見報・編集部より

◎ Shoemaker-Levy彗星(1993e)の発見
IAUC 5725 他によると、パロマー天文台の46cm
シュミット望遠鏡で、シューメイカ夫妻とD.H.
レビーはつぎの位置に新彗星を発見した。

1993 UT 赤経(2000.0)
3月24.35503 12時26分39.27秒

赤緯 全光度
-04度03分32.9秒 14等

その後の観測によると、この彗星は節のような明るい輝点を持つ特異な様子を示すという。スマソニアン天体物理学センターのB.G.マースデンは、以下のような暫定軌道を求めた。

T=1994 Aug. 3.441 TT Peri.=300.459
Node=344.563 2000.0
q=2.36996 AU Incl.= 2.322

また、次のような橈円軌道も考えられるという。

T=1988 Dec. 5.767 TT Peri.= 43.253
e=0.18714 Node=347.657 2000.0
q=3.91756 AU Incl.= 2.684

この軌道によると、木星にかなり接近することが考えられ、また明るい輝点は分裂を示す兆候かも知れない。

◎ NGC 3031=M 81 銀河に超新星が出現

IAUC 5731によると、スペインのF.ガルシアは下表のようにNGC 3031銀河に超新星を発見した。(8月号ASTRONewsにて詳報予定)

発見日(UT) 1993年3月28.86
発見光度 12.0等
出現位置 赤経=09時51分19.27秒
(1950.0) 赤緯=+69度15分25.7秒
タイプII型に分類され、発見の数日前に爆発したらしい、という。

香西洋樹

編集部より

◎既に、4月号星空市場の読者の欄に掲載しましたように、本年1月号の**EUREKA**の記事に不適切な表現があるとの指摘を受けました。ここに、現天文月報編集部の見解を述べます。現編集部は、著しく難解な表現や不明瞭な表現がある場合には、著者に修正を求めることがあります。基本的には著者の表現を尊重して、原文のまま掲載する方針を採っています。これは、編集部が原文に手を入れたり、修正をお願いすることが、原文の個性や著者の主張を著しく損なうことにつながる場合があるという判断に基づくものです。したがって、表現につきましては今後とも著者の自的な判断で行なっていただきたいと思います。

今回、ご指摘を頂いたことは、表現について様々

な観点からの配慮が大切であることを知る良い機会になったと思います。今後とも、著者の方々のご理解とご配慮を期待する次第です。

◎毎月の天文暦、太陽黒点、日月惑星運行図は、1990年；83巻12月号まで連載しておりましたが、それ以降、掲載しておりません。現在の天文学研究と直接の関係がないこと、また天文月報でなくても、普通の天文の雑誌に出ていることから掲載を打ち切りました。限られた貴重な紙面ですので、他の天文雑誌では扱われない記事一研究の最前線を解かりやすく紹介することや学会活動等を中心、学会誌として、アマチュアと天文学研究者とを結ぶような内容とする編集方針としたい理由からです。もし、再連載の強い希望がありましたら、再考します。

編集委員 佐藤修二(編集長), 一本潔, 梅村雅之, 奥村幸子, 谷川清隆, 堂谷忠靖, 半田利弘	平成5年5月20日 発行人 〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内	社団法人 日本天文学会
印刷発行 定価 550円(本体 534円)	印刷所 〒162 東京都新宿区早稲田鶴巣町565-12 啓文堂	松本印刷
発行所 〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内	電話 (0422)31-1359	社団法人 日本天文学会